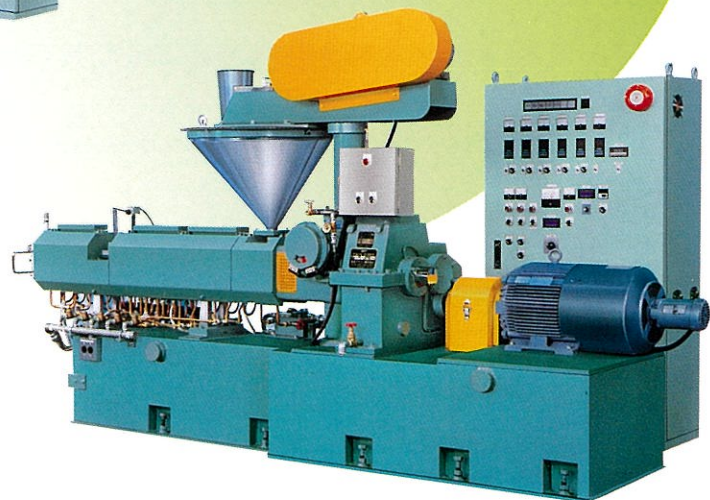
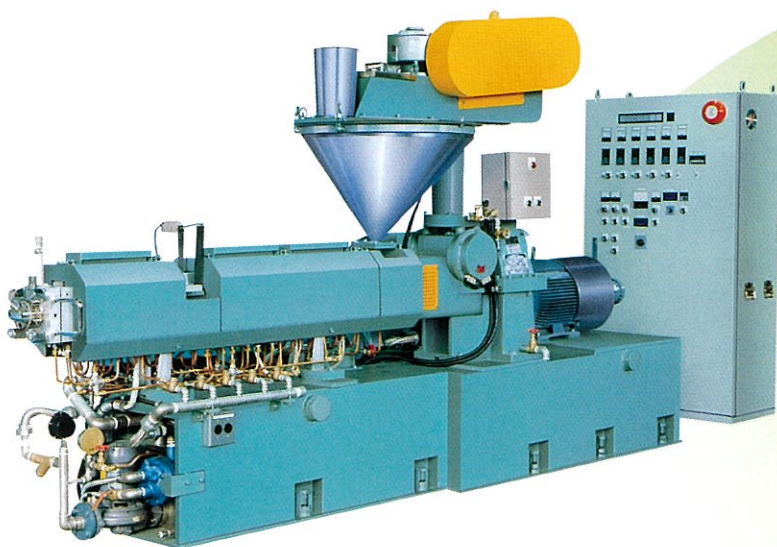


SDMG

新鋭機 マジックベント®

(特殊単軸高性能混練機)



■ 概要

マジックベント押出機が開発されたのが1976年、当時のコンパウンドはオレフィン樹脂と無機フィラーまたはABS粉末のペレット化及び着色など限られた用途でありました。しかし近年難燃樹脂の需要拡大によりPS、ABS、PPなどの難燃加工に利用されるようになり、分散混練が良く押出量が多い機械の要求が急速に盛り上がり、L/Dを36とし、スクリー回転数を480回転するSDMGの開発に成功しました。これにより、2軸押出機とほぼ同等の分散混練効果を発揮することが可能となりました。クリーニング性、消耗部品などを考慮すると今後のコンパウンド加工の方向を変える機械と言っても過言ではありません。

マジックベントの変遷

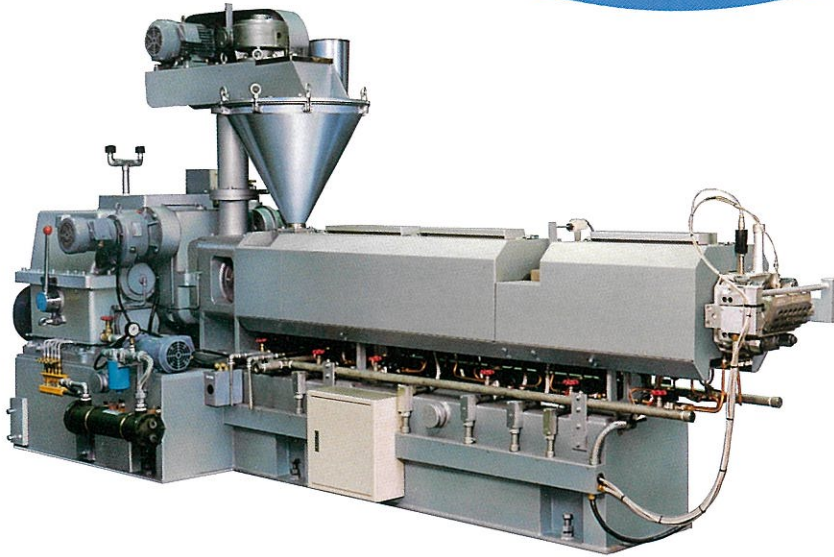
第一期	L/D 16	ABSパウダーのペレット化	
第二期	L/D 18	PPに無機フィラー	
第三期	L/D 20	汎用樹脂の着色	
第四期	L/D 28	マスターバッチ製造	
第五期	L/D 32	各種樹脂コンパウンド	好評発売中
第六期	L/D 36	高混練、高吐出量	新開発発売中

■ 特長

1. 運転中に圧縮の調節を行い、最適な条件で運転することが出来ます。
2. L/Dを36とし2軸と同等の分散、混練効果があります。
3. 480回転で押出量が多く生産効率も上がります。
4. シリンダーは耐食、耐磨耗材質を標準装備しています。
5. コモンフレーム架台(厚鉄板加工後熱処理)で低振動、芯振れがありません。

SDMG マジックベント混練機

50mm・65mm・75mm

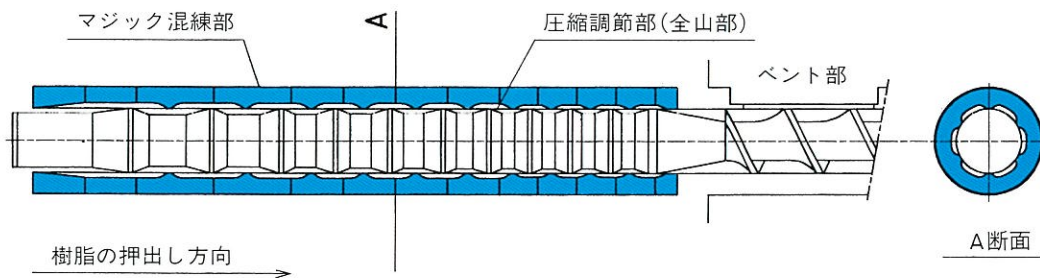


■構造

SDMG型押出機の構造はシリンダーの混練部分に複数の溝が数段に設けてあり、スクリーンもほぼ対象形になっております。それぞれに仕切りの役を果たす山部があり、スクリーンからシリンダーへまたシリンダーからスクリーンへと移送をくりかえして前に進んでいきます。

この仕切りの山部がシリンダー内面のクリーニングを行う重要な部分なのです。

仕切りの山部の隙間を圧縮調整装置で運転中に調整することで各種の樹脂加工を行う事が可能なのです。



■SDMGマジックベント押出機仕様

スクリーン径	mm	50	65	75
スクリーン有効長	L/D	36	36	36
回転数	r.p.m	480	480	480
モーター	kW	55	90	132
ヒーター	kW	20	35	52
押出量 (ABSペレット)	kg/H	200～250	400～500	600～700

NPC 日本プラコン株式会社

埼玉県川口市青木2-3-6

電話 048(251) 7 8 8 1 (代表)

FAX 048(253) 8 1 4 2

●代理店